

1. 科目名 (単位数)	ボランティア論 (2単位)		3. 科目番号	GELA1350
2. 授業担当教員	茂木 勇			
4. 授業形態	講義 (ディスカッションを含む)		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	今日、わが国においてボランティア活動は大きな注目を集めている。阪神・淡路大震災においてボランティアの貢献度が新たに見直され、以後、学問的なボランティア論としての研究も活発になされるようになった。ボランティア活動は今日、様々な内容に拡大化、多様化しているが、同時にいくつかの課題も浮き彫りにされてきている。本講義において、福祉ボランティアを中心に、活動の現状と課題を探り、今後ボランティアコーディネーターとしての活躍も期待されている福祉系の学生が、必要な知識を会得するよう、講義、視聴覚教材、受講生による発表とディスカッションを通して学習する。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティアの意味と特徴、活動の歴史を理解し、説明できるようになる。 2. 今日のボランティア活動の現状と、そこにおける課題を理解し、説明できるようになる。 3. 実際に行われているボランティア活動のひとつに着目し、深く掘り下げて学習し理解を深める。 4. ボランティアコーディネーターに求められているボランティア指導の方法を理解することができる。 			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> ①授業で配布する資料を読んで、ワークショップに参加するとともに、他学生との共同グループワークに参加すること。また、授業内で実施する発表会に参加すること。 ②第6回、第7回でDVDを視聴し、授業中に掲げたテーマに沿って、800字程度のレポートを作成すること。 ③授業内で示すテーマに沿って、自分の関心のあるボランティア活動分野に関する最終レポートを作成すること。なお、レポートの形式等については授業内で別途指示します。 			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】指定なし (資料を毎回配布します)</p> <p>【参考書】・安藤雄太「ボランティアまるごとガイド [改訂版]」、ミネルヴァ書房、2012年 ・早瀬昇ほか「テキスト市民活動論」、社会福祉法人大阪ボランティア協会、2011年 ・岡本榮一ほか「学生のためのボランティア論」、社会福祉法人大阪ボランティア協会、2006年</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティアの意味と特徴、活動の歴史を理解し、説明できるようになったか。 2. 今日のボランティア活動の現状と、そこにおける課題を理解し、説明できるようになったか。 3. 実際に行われているボランティア活動のひとつに着目し、深く掘り下げて学習し理解を深めることができたか。 4. ボランティアコーディネーターに求められているボランティア指導の方法を理解することができたか。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度 40% 課題レポート 30% 期末評価 (レポート・試験等) 30%</p> <p>※ 東京福祉大学の学則 (第 36 条) に則り、成績評価に必要な出席時間数を満たしていない受講生の評価は行わない。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> ①正当な理由なく授業を欠席・遅刻・早退をしないこと。やむを得ない事情で欠席・遅刻・早退した場合はその理由を必ず講師にメール報告すること。 ②授業中は、飲食・私語・居眠りを慎むとともに、スマートフォンの使用も厳禁です (ただし、授業で情報検索の指示のあった場合を除きます)。 ③この授業では、個人ベースのワークショップと他学生との共同ワークショップの双方を予定しています。学習効果を高めるために、できる限り積極的な参加をお願いします。 ④この授業では、自分自身の興味関心に基づき、ボランティア活動計画を作成します。また、実際に活動に参加した場合には、その活動報告をすることで、授業参加度に加点します。 			
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) に通知します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第1回	授業ガイダンス 1) 授業の概要説明、到達目標、評価方法の説明 2) 教員の自己紹介、受講生のマイ・ボランティア紹介 3) ボランティアを学ぶ意義とは？		事前学習	自らのボランティア体験を振り返り、自分なりのイメージを整理する。
			事後学習	新聞紙面やWEB検索からボランティア関連情報を抽出・精読する
第2回	ボランティアとは何だろうか 1) ボランティアの歴史・概念・特徴の概説 2) 統計資料に見る我が国のボランティア		事前学習	自分らの住む地域でどんなボランティアがあるか調べてみる
			事後学習	授業で学んだ視点を踏まえ、地域のボランティアを再度調べてみる
第3回	ボランティア活動を知る (総論) 1) ボランティア 6 原則と 6 つの活動領域 2) ボランティアと向き合う前に自分と向き合おう a. 自分史の作成方法の説明 b. ボランティア情報の収集とトラブル防止策		事前学習	自分の興味関心のあるボランティア活動について予め調べてみる
			事後学習	自分の興味関心と 6 つの活動領域に照らし、ボランティア情報を調べる。また、トラブル防止策について具体的に考えてみる
第4回	ボランティア活動計画を立てよう * 自分に相応しいボランティア活動計画を検討する a. ミニ自分史を作成 b. ボランティア活動計画を作成する c. 受講生相互で説明し、活動計画をブラッシュアップする		事前学習	自分史を作成するための情報 (過去・現在) と将来目標を整理しておく
			事後学習	自分史をもとに、自分の興味のあるボランティア活動を見極め、ボランティア受入窓口 (申込先) を調べる

第5回	非営利団体(NPO/NGO)とボランティア活動 1)NPO/NGOの仕組み、2)データでみるNPOの姿、 3)NPOとボラ活動の関係	事前学習	報道されているNPO/NGOについて、WEB等で調べる
		事後学習	自分の住む地域には、どんな活動をしているNPOがあるか調べる
第6回	福祉分野のボランティア・NPO活動(1) 1)福祉分野の抱える社会的な課題とボラの必要性 2)個別事例の紹介 3)DVD視聴「こんな夜更けにバナナかよ」(冒頭45分)	事前学習	地域にある福祉分野のボランティア・NPO活動事例を調べる
		事後学習	福祉分野の社会的な課題として思いつくものをまとめる
第7回	福祉分野のボランティア・NPO活動(2) DVD視聴「こんな夜更けにバナナかよ」(後半75分)	事前学習	地域にある福祉分野のボランティア・NPO活動事例を調べる
		事後学習	DVD視聴による自身のボランティア観の変化など、意見をまとめる
第8回	教育・子育て分野のボランティア・NPO活動 1)福祉分野の抱える社会的な課題とボラの必要性 2)個別事例の紹介	事前学習	地域にある教育・子育て分野のボランティア・NPO活動事例を調べる
		事後学習	教育・子育て分野の社会的な課題として思いつくものをまとめる
第9回	環境分野のボランティア・NPO活動	事前学習	地域にある環境分野のボランティア・NPO活動事例を調べる
		事後学習	環境分野の社会的な課題として思いつくものをまとめる
第10回	ボランティアコーディネーターと役割	事前学習	ボランティアを受け入れる立場に立ち、ボランティア活動を考えてみる
		事後学習	ボランティアコーディネーターに求められる能力について考えをまとめる
第11回	企業ボランティア(企業CSR) 1)企業CSRの概念と特徴、 2)事例紹介	事前学習	企業ボランティア(企業CSR)の事例についてWEBで調べる
		事後学習	企業がCSR活動を推進する理由や目的について整理する
第12回	地域課題を解決するソーシャルビジネス(社会起業) 1)ソーシャルビジネスの概念・特徴 2)事例紹介 ソーシャルビジネスを企画しよう(1)アイデア会議 1)地域課題の発見 2)対象者の設定と目標設定 ★班別活動の方法は授業時に指示します	事前学習	ソーシャルビジネス(社会起業)の事例についてWEBで調べる
		事後学習	身の回りで社会起業として成り立つ具体的な活動内容とビジネスプランを検討する
第13回	ソーシャルビジネスを企画しよう(2)事業立案会議 3)実施事業の検討 4)持続可能なビジネス化の検討	事前学習	実施事業を円滑に進めるためのアイデアを考えておき、グループワークに備える
		事後学習	グループワークの結果をふまえ、目標設定と対象事業者の見直しを図る
第14回	ソーシャルビジネスを企画しよう(3)発表会 5)班別にソーシャルビジネス企画を発表 ★発表方法は授業時に指示します	事前学習	ワークショップ発表の準備をしておく
		事後学習	他の学生の発表を聞いて、参考になった点を整理する
第15回	持続可能なボランティア/NPO活動 講義のまとめ	事前学習	ボランティア活動の継続のために必要なこととして自分の意見をまとめておく
		事後学習	講義を踏まえて、持続可能なNPO活動に向けて必要な要素を明らかにする